

## 道本部建設部会が総会 組織を拡大し、とりくみの前進へ

道本部建設部会は12月19日に第17回総会を開いて、1年間の活動を振り返るとともに、新年度の活動方針を決定しました。総会は、はじめに河合部会長が「建設産業をめぐって建退共やキャリアアップシステムなど新たなうごきがある中で、組織の拡大にとりくもう」とあいさつし、道本部の森国委員長から「現場に足を運んで調査している北海道のとりくみはゼネコン要請などで説得力をもっている。公契約条例のとりくみをふくめてさらに前進させよう」と激励を受けました。

討論では、「現場労働者に設計労務単価のチラシを配ることで反応が出ている」（十勝）、「今年も市発注の6現場の調査をやったが、賃金は設計労務単価の4～6割でしかない。市は全国の中核市にメールでアンケートを送って、労働者の賃金調査を検討中だ」（函館）、「市から冬場の就労事業を今年も出させた」（苫小牧）などの報告がありました。「組織拡大」「賃金引き上げ」「雇用・失業対策」「労災・職業病対策」などのとりくみを確認し、新年度役員に河合雅夫部会長、土屋加奈子副部会長、須貝卓矢事務局長を再選しました。

### 燃料手当・年末一時金闘争の回答・妥結状況

【札幌合同支部岩鉄分会】燃料手当80,000円（月16,000円×5＝11～3月）【札幌学童保育支部】協会雇用の学童保育指導員・寒冷地手当＝前年同額（世帯主116,800円など）／年末一時金＝指導員2.35か月分（組合員平均478,460円）など【函館運送支部】燃料手当は既報（闘争速報No.15）／年末一時金・本採用2.137か月分（前年比+0.025か月／480,158円）など【釧路地域支部あゆみ厚済分会】年末一時金0.85か月分（前年同率）【同・太平洋運輸分会】燃料手当・世帯主2250.9円×94.14円／年末一時金（55歳まで）410,000円など＝前年同額

### 1の日 行動

### 北の鉄路存続・すべての争議解決 JAL争議団が訴え

12月11日、札幌駅南口で2つの「1の日行動」がおこなわれました。「北の鉄路を守る1の日行動」では、JR北海道が日高線・根室線・留萌線を次々に廃止・バス転換しようとしていることに怒りの声をあげました。このあと「すべての争議解決1の日行動」では、福祉保育労明啓院分会、別海柏の実分会、自交総連、医労連恵和会労組、医療一般北の台クリニック分会、杉本綾さん過労死裁判を支援する会からたたかひの報告と訴えがありました。この日は、昼の宣伝行動に引き続き、JAL（日本航空）不当解雇撤回原告団の山口宏弥団長（パイロット）も参加して9年にわたるたたかひを報告し決意を述べました。

このあと、「争議支援！団結交流会」には元全動労争議団の仲間も参加して、国鉄闘争で歌い継がれてきた「俺たちのシルクロード」を参加者とともに熱唱しました。佐藤事務局長は「国鉄を分割・民営化した中曽根元首相は許さない。私たちは家族の励ましもあってたたかひこれたし、仲間の励ましがたたかひのエネルギーになった。私は『支援しろ』と言われても支援はしない。みなさんとともにたたかひいきたい」と激励しました。